

家庭とは何ぞや

先達てから、募集しました此問題の解答を披露  
します。數も餘り多く集らず、よいのも比較的  
少かつたのは甚だ遺憾と存じます。左に載せま  
した他、文辭語句意味も、あまり面白からずと  
思はれた分は、相談の上、掲載を見合せました。

「小兒には發達、大人には安息、老人には怡樂」  
この三つの要求を満足せしめんがため、夫婦相和  
して其理想を實行する所を家庭といふ。(二等)

牛 込 訪 莊 生

少し文辭が長くなつたけれども、とに角言ひ盡して居りませう。  
たゞ安息といふ代りに、新しい生命といふ意味の言葉が欲  
しい様に思はれます。が、先づ、評議は之を白眉と推しました。

胃には一日三度の食物、心には、常に無限の食物  
を與へらるゝ所。(二等)

神 田 一 二 三

よほど奇抜な面白い言ひ廻はしてありませんか。

暗き世の罪咎も、愛の光りに照されて、此處には  
其影だも見えぬ。(二等)

本 郷 ひ な 子

地上の天國が甘く言ひ顯はされました。

先づ右の三者を選びました。次のは、とりく  
に面白い節もございませうが、どれも大抵よく  
似たものでせう。

伊 豆 瑞 枝

神聖なる秩序と眞の愛の集合より成れる保護所  
家庭とは互に世の勞苦を慰め心身を養ふ一の樂園  
なり。

京 橋 坂 山 つ き

(1) 我等が天職の源の如く又海の如し  
(2) 君子花の如く天然にして馥郁たらんことを欲す

(3) 試験管中の如く異分子によりて變更を見るべし

愛 旺

王水を盛つた試験管の如し如何なる物も融解し去るといふ風に言ひたいですね。

家庭とは、あらゆる人の(父子夫婦より婢)スマイル交換所なり。

大 阪 エム、エヌ、

すまへると微笑のE.M.O.とにかけて顯はした所が仲々甘く出来ました。

妻の耕し母の培ふ樂園

神 田 極樂園主

父の耕し母の培ふ子供の樂園とたしらどうでせう。

家庭とは社會に於ける人類の生活上より來れる最小集合體なり。

木挽町 N S

何だか餘り理屈っぽいではありませんか。

(1) 複雑なる世の競争場裡を遠く離れたの樂園なり

(2) 人生に新生命を與ふる平和なる小天地なり

小天地であつて又大天地だといふ様に言ひ願はしたいですね。

(3) 無限なる慰藉と無限なる喜樂を吾人に與ふる場所

長 野 飯塚忠次郎

一番餘計に不平を鳴らしながら一番よく待遇せられる場所

小石川 M、H、

極めて實際を穿つて居ます。一番餘計に喧嘩しながら一番仲のよい場所としたらどうでせう。

家庭とは子を産む所なり。子を産む爲には父母あり。父母ある爲には先祖あり。子を養育する爲には衣食住の三要素の必要あるなり。其要素を充たす所の者は家庭各分子の活動の結果なり。其分子の不調は家庭の不和波瀾となり、又其調和は家庭の團樂となる

小石川 平岩繁治

實際でせう。

選定の當日選定者の中で、次の様なのを出した方がありません。御笑草に供します。

父嚴・母愛・兒樂・三角同盟之地。

不文律を以て統治する一國家。

家庭には愛の光の照り渡り

年から年中闇の世はなし。

我が庭は世の浮雲の影もなく

愛の光をあびてたのしむ。

故郷

雨峰生

筑波の山を仰ぎ見る

わが古里の春の色

心かよわきわが身しも

天のうたけに酔されて

今日も一日をくらすかな

旅より旅の苦を忘れ

この自然のわたゝかき

慈悲の心にいだかれて

又

山はかすみて何笑ふ

川は流れて何かたる

千歳をちぎる桃の村

朽ぬ姿の松村

こゝわがすめる古きさと

婦人と親族法

太田英隆

緒言

ある貴婦人と話をしましたときに、其婦人が「人は幾歳に達したら婚姻をすることが出来るか、又甥と姪との間に於ける婚姻は、法律上甚麼もので